

[様式第3号]

資料提供年月日	平成31年 2月18日	
問い合わせ先	課名	農林水産課
	電話	直通 803-1346 内線 4541
担当者	職名・氏名	課長 小坂正樹
	職名・氏名	室長 佐藤 誠

# 広 報 連 絡

## <市長定例記者会見資料>

- 1 件 名 平成30年7月豪雨に関する農水産業者アンケート調査結果について
- 2 趣 旨 この調査は、平成30年7月豪雨に関する農水産事業者の被害・復旧状況、支援策の活用状況、並びにり災証明書発行事務や復興支援に関する周知方法等の評価や意見について把握し、今後の災害対応の参考とすることを目的として、平成31年1月にり災証明（農水産業関係）の申請者を対象にアンケートを実施したものです。
- 3 対 象 者 り災証明（農水産業関係）の申請者
- 4 調査方法 郵送によるアンケート配布・回収（ファックス回答可）
- 5 調査期間 平成31年1月10日（木）～1月25日（金）
- 6 回収結果等

送付数	243件
回答数	158件
回収率	65.0%

- 7 結果の概要 別添、「平成30年7月豪雨に関する農水産業者アンケート調査結果」のとおり

# 平成30年7月豪雨に関する農水産業者アンケート調査結果

## 1 調査目的

平成30年7月豪雨に係る農業者の被害・復旧状況、支援策の活用状況、並びに  
り災証明書発行事務や復興支援に関する周知方法等の評価や意見について把握  
し、今後の災害対応の参考とする。

## 2 調査対象等

調査対象	平成30年7月豪雨に係るり災証明(農水産業用)を申請した事業者
調査方法	郵送法。 ・ 調査対象者にアンケートを郵送。 ・ 調査対象者は、アンケート記入後、返信用封筒による送付又はFAXにより提出。
調査期間	平成31年1月10日(木) から 平成31年1月25日(金)まで
送付数	243 件
回答数	158 件 回答率 65.0%

平成31年2月  
岡山市 産業観光局 農林水産部  
農林水産課

平成30年7月豪雨に関する農水産業者アンケート調査結果集計

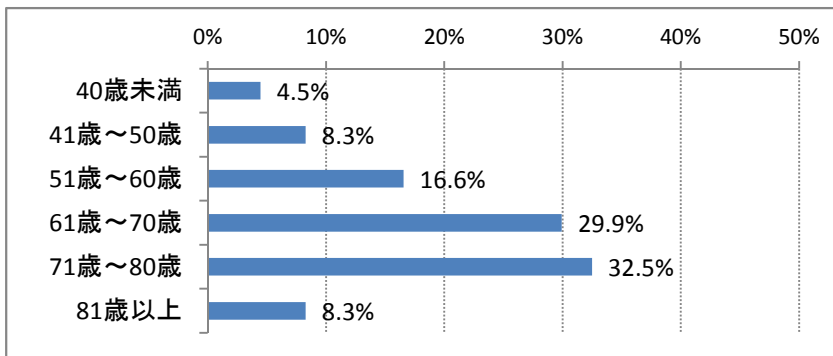
(注) 四捨五入により、割合(%)の合計が100とまらない場合があります。

【被害・復旧状況】

Q1 主たる農業従事者の年齢について教えてください。

「71歳～80歳」が32.5%で最も多く、次に「61歳～70歳」29.9%となっている。61歳以上が全体の7割を占めている。

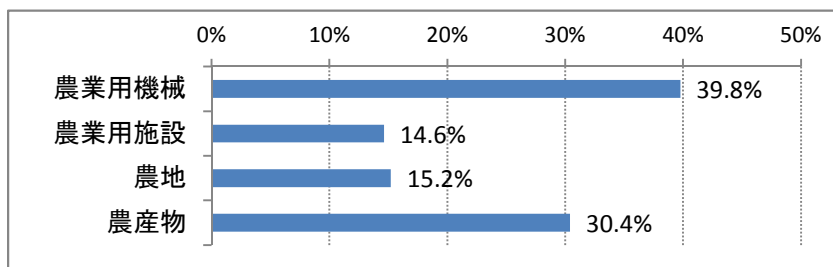
項目	件数	割合
40歳未満	7	4.5%
41歳～50歳	13	8.3%
51歳～60歳	26	16.6%
61歳～70歳	47	29.9%
71歳～80歳	51	32.5%
81歳以上	13	8.3%
合計	157	



Q2 被害を受けたものを教えてください。(複数回答可)

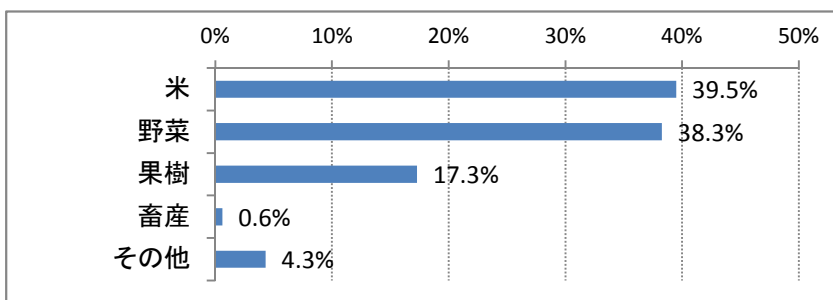
「農業用機械」が39.8%で最も多く、次に「農産物」が30.4%となっている。また、「農産物」の内訳は、「米」が39.5%で最も多く、次に「野菜」が38.3%となっている。

項目	件数	割合
農業用機械	136	39.8%
農業用施設	50	14.6%
農地	52	15.2%
農産物	104	30.4%
合計	342	



農産物の内訳	件数	割合
米	64	39.5%
野菜	62	38.3%
果樹	28	17.3%
畜産	1	0.6%
その他	7	4.3%
合計	162	

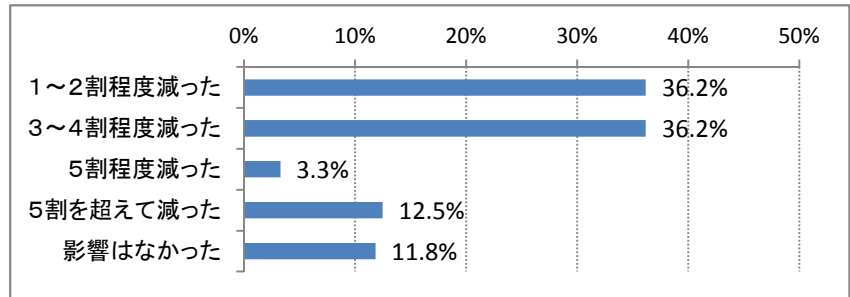
※その他＝大豆、花など



Q3 被災による平成30年の農業収入への影響はどの程度ですか。被災前と比較して教えてください。

「1～2割程度減った」と「3～4割程度減った」が共に36.2%であり、合計で7割程度を占めている。

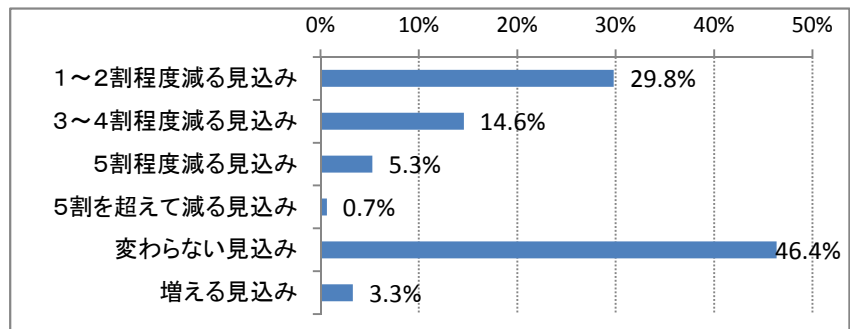
項目	件数	割合
1～2割程度減った	55	36.2%
3～4割程度減った	55	36.2%
5割程度減った	5	3.3%
5割を超えて減った	19	12.5%
影響はなかった	18	11.8%
合計	152	



Q4 来年度の農業収入への影響はどの程度の見込みですか。被災前と比較して教えてください。

「変わらない見込み」が46.4%で最も多く、次に「1～2割程度減る見込み」が29.8%となっている。

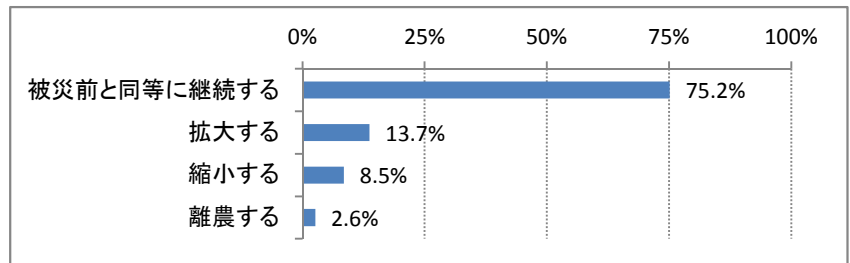
項目	件数	割合
1～2割程度減る見込み	45	29.8%
3～4割程度減る見込み	22	14.6%
5割程度減る見込み	8	5.3%
5割を超えて減る見込み	1	0.7%
変わらない見込み	70	46.4%
増える見込み	5	3.3%
合計	151	



Q5 被災を受けての営農継続見込みについて教えてください。

「被災前と同等に継続する」が75.2%で最も多く、次に「拡大する」が13.7%となっている。

項目	件数	割合
被災前と同等に継続する	115	75.2%
拡大する	21	13.7%
縮小する	13	8.5%
離農する	4	2.6%
合計	153	

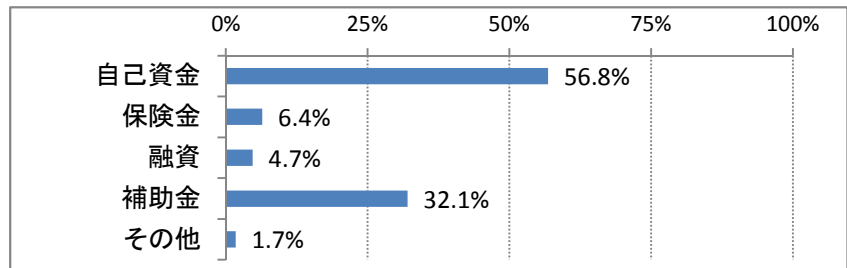


Q6 復旧にかかる費用の資金調達方法について教えてください。(複数回答可)

「自己資金」が56.8%で最も多く、次に「補助金」32.1%となっている。

項目	件数	割合
自己資金	133	56.8%
保険金	15	6.4%
融資	11	4.7%
補助金	75	32.1%
その他	4	1.7%
合計	234	

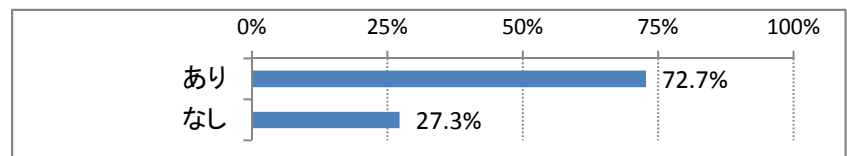
※その他=家族など



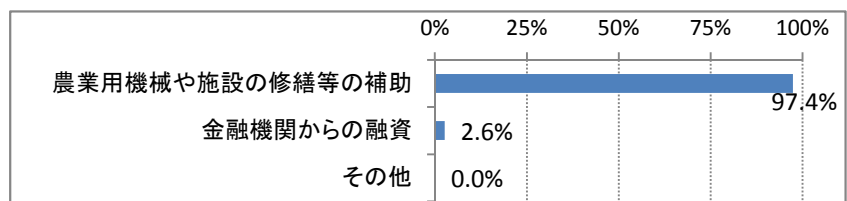
Q7 活用された復興支援策はありますか。

「あり」が72.7%。その内訳は、「農業用機械や施設の修繕等の補助」97.4%となっている。

項目	件数	割合
あり	112	72.7%
なし	42	27.3%
合計	154	



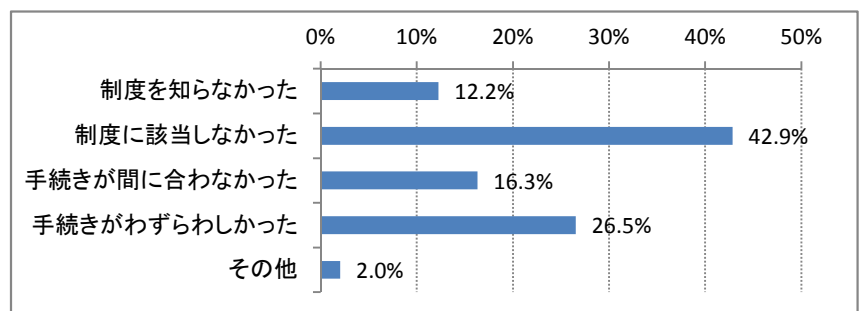
「あり」の内容	件数	割合
農業用機械や施設の修繕等の補助	111	97.4%
金融機関からの融資	3	2.6%
その他	0	0.0%
合計	114	



「なし」が27.3%。その内訳は、「制度に該当しなかった」42.9%、次に「手続きがわずらわしかった」26.5%となっている。

「なし」の理由	件数	割合
制度を知らなかった	6	12.2%
制度に該当しなかった	21	42.9%
手続きが間に合わなかった	8	16.3%
手続きがわずらわしかった	13	26.5%
その他	1	2.0%
合計	49	

※その他=自己修理。



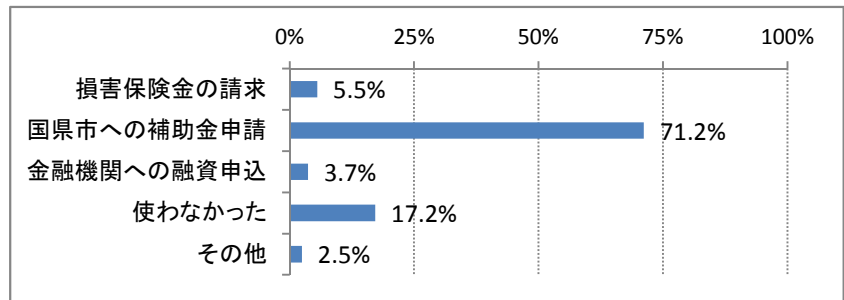
【り災証明(農水産業関係)】

Q8 り災証明(農水産業関係)の使途について教えてください。(複数回答可)

「国県市への補助金申請」が71.2%で最も多く、次に「使わなかった」が17.2%となっている。

項目	件数	割合
損害保険金の請求	9	5.5%
国県市への補助金申請	116	71.2%
金融機関への融資申込	6	3.7%
使わなかった	28	17.2%
その他	4	2.5%
合計	163	

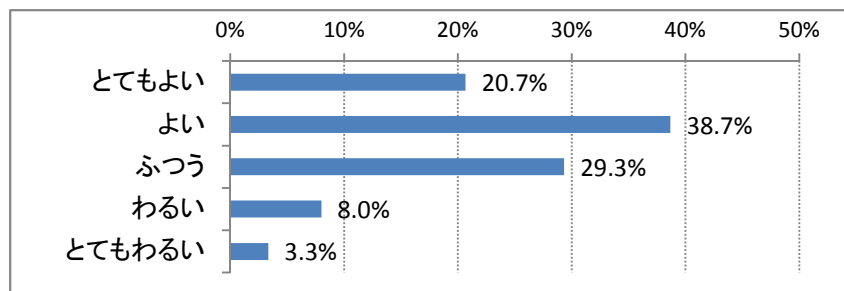
※その他＝確定申告など。



Q9 岡山市のり災証明(農水産業関係)の交付手続きに関する対応(申請相談等)はいかがでしたか。

「よい」が37.7%で最も多く、次に「ふつう」29.3%、「とてもよい」20.7%となっている。

項目	件数	割合
とてもよい	31	20.7%
よい	58	38.7%
ふつう	44	29.3%
わるい	12	8.0%
とてもわるい	5	3.3%
合計	150	



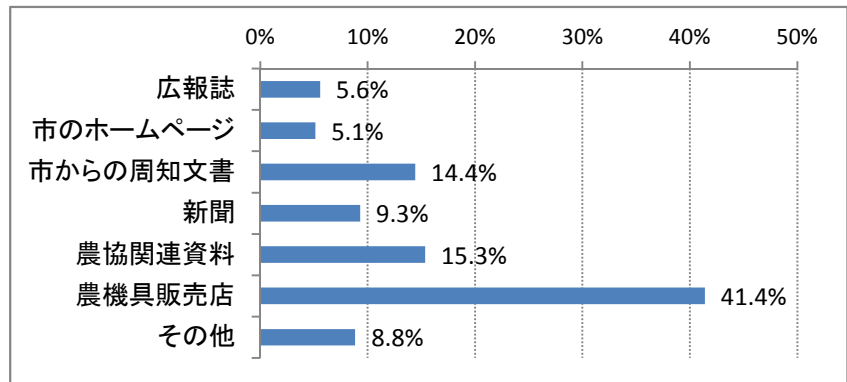
【周知方法】

Q10 農水産業関係のり災証明交付手続きや復興支援策について、何で知りましたか。(複数回答可)

「農機具販売店」が41.4%で最も多く、次に「農協関連資料」15.3%、「市からの周知文書」14.4%となっている。

項目	件数	割合
広報誌	12	5.6%
市のホームページ	11	5.1%
市からの周知文書	31	14.4%
新聞	20	9.3%
農協関連資料	33	15.3%
農機具販売店	89	41.4%
その他	19	8.8%
合計	215	

※その他＝知人、家族、テレビ・ラジオなど。



Q11 農水産業関係のり災証明交付手続きや復興支援策の周知方法への満足度を教えてください。

「ふつう」が40.5%で最も多く、次に「よい」27.5%、「わるい」19.6%となっている。

項目	件数	割合
とてもよい	9	5.9%
よい	42	27.5%
ふつう	62	40.5%
わるい	30	19.6%
とてもわるい	10	6.5%
合計	153	

